

# 市町の取組事例

福井県管理河川 嶺北ブロック減災対策協議会  
福井県管理河川 嶺南ブロック減災対策協議会

令和8年 2月12日

## ○ 福井市防災情報システムの導入と災害対策本部訓練の実施

- 今年度より福井市防災情報システムの本格運用を開始した。
- 災害情報等をシステムに入力する状況付与型の本部室訓練や、情報を本部会議にて共有する本部会議訓練を実施し、災害時の情報共有体制について強化を図った。

### ◆ 災害対策本部室訓練（令和7年2月）

- 災害対策本部への情報集約を迅速化するために、防災情報システムを活用し訓練を実施。



災害対策本部室 訓練



### ◆ 災害対策本部会議訓練（令和7年5月）

- 気象情報、河川・砂防・道路情報だけでなく、避難所の開設状況や災害の被害状況が写真と共にシステム上にマッピングされ、これら情報を紙媒体ではなくPCやスクリーンを用いて共有。



災害対策本部会議 訓練

○ 敦賀市版タイムラインの作成 (ふくい県域タイムラインを参考に)

○ タイムラインに対応した To Do チェックリスト型個票の作成

### 作成前

#### 一部職員の属人的能力への依存

- ・ 災害経験の少なさから職員の練度は高くなく、災害対応の漏れが発生する危険がある。
- ・ 災害対策の中には、一部職員の属人的な能力に依存しているものがある。

### 内容

#### 各部署が実施すべき事項について図式化、ToDoリスト化

- ・ 敦賀市地域防災計画に定める各部、各班の役割を時系列に並べ、他部署が並行して何を実施しているか分かるよう図式化した。
- ・ 具体的に各部署が行うべき災害対策を、各部署ごとの個別票を作成し、対応漏れが無いようTo Doリスト形式とした。

### 運用

#### タイムラインを用いた総合防災訓練実施

- ・ 令和7年度初めに試作品を作成し全庁に周知
- ・ 幸いにも災害が発生しなかったことから実践されていない。
- ・ 今後、タイムラインを用いた総合防災訓練を実施していく

敦賀市版一般災害(風水害)タイムライン\_試作

#### 地域防災計画に定める各部・各班

時間軸	レベル区分	気象等の状況 ※気象情報 ※年々々々	洪水 ※指定河川	行動目標 (避難誘導等)	行動項目	総合班	輸送物資班	避難班	生活環境班	商工業	福祉班	農林水産班	土木班	上下水道班	情報班	都市観光班	総務班	特設班	広報渉外班	
5分目録	レベル0				備え	1 防災気象情報の収集														
	レベル1	早期警戒情報 ※5日目で警戒 ※可能性	水防団待機水位 ・堤の川: 1.3m ・井の口川: 1.0m		準備	2 防災気象情報の収集														
	レベル2	大雨注意報 ・洪水注意報 ・高潮注意報	氾濫注意水位 ・堤の川: 1.7m ・井の口川: 1.7m		警戒	4 防災気象情報の収集														
	レベル2.5	早期警戒情報 [高]			事前周知	6 庁内周知 ※庁内ライン、 ※指示周知														

### 個別票

発災(風水害)タイムライン編纂(防災行動ToDoリスト)\_試作

TLステージ	行動項目(第1階層)	行動項目(第2階層)
1	情報の収集	防災気象情報等の収集
2-1	解析雨量・降水短時間予報、大雨注意報等の情報収集	

各部署が行うべき災害対策をTo Doリスト形式に

班別	担当	実施内容	備考
<input type="checkbox"/>	総合班	気象庁防災情報により大雨の早期注意情報を確認する	※気象庁IP-防災情報-福井県-敦賀市-天気予報-早期注意情報
<input type="checkbox"/>	総合班	キキウルにより土砂災害の警戒レベルを確認する	※気象庁IP-防災情報-福井県-敦賀市-キキウル
<input type="checkbox"/>	総合班	福井県河川・砂防施設情報により河川の(氾濫)の水位を確認する	※福井県河川・砂防施設情報-堤の川川長
<input type="checkbox"/>	総合班	庁内指示板にて、収集した情報を共有する	

他部署が並行して何を実施しているか図式化

### ○ 小浜市防災マップ作成支援事業について

- 住民が、災害時に自らの判断で主体的に避難行動をとれるようにするため、自主防災組織を組織している区を対象とし、令和3年度から継続して防災マップの作成を支援している。
- 防災マップは、居住している区の災害リスクや避難経路、避難場所などを住民が把握し、災害時に適切な避難行動をとることにより、自身の安全を図り、被害を最小限に抑えることを目的としている。

### ◆ 防災マップ作成の流れ

- ① ノウハウ研修(6月・7月に開催(計2回))
    - 防災専門家から防災マップの作成目的や作成方法など基礎的な知識について学ぶ。
  - ② まち歩き指導(各区ごとに13区で開催)
    - 防災専門家とともに自分たちの住む地域を歩き、危険箇所や災害リスクの高い家屋などを確認する。
  - ③ 合同マップ作成会(8月・9月に開催(計2回))
    - まち歩きで集めた情報をもとに、グループワーク形式で地図上に整理し、防災マップを完成させる。
- (※令和7年度末までに市内148区中50区で作成済)

### 防災マップ完成品(例)



① ノウハウ研修



② まち歩き指導



③ 合同マップ作成会





## ○ 防災フェスタの実施

- ・ 令和7年8月3日に、令和6年能登半島地震を中心とした、災害全般をテーマとした防災TALKや防災に関する展示を開催した。
- ・ 自主防災組織や防災士、区長に参加してもらい、ハザードマップの事前確認や、備蓄の重要性についてディスカッションし、自主防災組織の防災力強化を図った。

## ◆ 防災TALK (講師による基調講演、対談)

基調講演



対談



## ◆ 防災展示 (勝山市の過去の災害状況パネルや防災備蓄品の展示)

過去の災害写真



簡易トイレ体験



### 同日開催!! 防災フェスタ

「楽しく学ぶ、楽しく備える、みんなで繋がる」

昨年1月1日能登半島地震が発生しました。  
決して能登半島で起こったことは他人事ではありません。  
この機会に、防災についてみんなで考えてみませんか？

**日時** 8月3日(日) 10:00-12:00  
**会場** 勝山市市民交流センター 2階 大ホール

<p><b>&lt;第1部 基調講演&gt;</b> 10:00-11:00 ～能登半島地震災害支援を通して～</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">   <b>菅原健介氏</b>  <small>NPO法人ぐるんどびー 代表</small> </div> <div style="text-align: center;">   <b>菅原健介氏</b>  <small>医療法人社団 オレンジグループ 代表</small> </div> </div>	<p><b>&lt;第2部 対談&gt;</b> 11:00-12:00 ～今できることをみんなで考えよう～</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">   <b>菅原健介氏</b>  <small>医療法人社団 オレンジグループ 代表</small> </div> <div style="text-align: center;">   <b>紅谷浩之氏</b>  <small>勝山市長</small> </div> <div style="text-align: center;">   <b>水上実喜夫氏</b>  <small>能登半島地震被災者 宮原賢一氏</small> </div> </div>
--	---

---

**体験ブースあり/ 防災展示**

**日時** 8月3日(日) 10:00-17:00  
**会場** 勝山市市民交流センター 1階 湯ったり勝山

  
簡易トイレの使い方がわかる? / |段ボールベッドに寝てみよう!

  
簡易トイレの使い方がわかる? / |簡易トイレの使い方がわかる?!

  
防災バッグの中身は? / |防災バッグの中身は?!

  
ハザードマップ見たことある? / |ハザードマップ見たことある?!

  
非常食何食分? / |非常食何食分?!

**お客様へのお願い**

- ・ 市民交流センター、越前大仏の駐車場をご利用ください。
- ・ ゴミは各自でお持ち帰りください。

**お問い合わせ先** 080-4767-2354(西谷)  
nurse.saki.0722@gmail.com

**主催** 勝山輪っか夏祭り実行委員会  
**共催** 勝山市・勝山市地域防災組織連絡会  
**特別協力** 福井ユニテッド株式会社、NPO法人ぐるんどびー、医療法人社団オレンジ (順不同)

## ○ 各町内会への水防資機材の配布

- 各町内会に設置する自主防災組織を設置（全153町内会で設置済）
- 自主防災組織が自らの判断で迅速に水防対策を実施できる体制を整備
- 令和3年度から毎年、各町内会に対して資機材の種類および数量に対する調査を実施
- 調査結果に基づき、必要な資機材を各町内会へ配布

### ◆ 取り組みの内容

- 2月に各町会に対し、要望および所有数を調査
- 3月末までに、希望町内会および必要数を取りまとめ
- 4～6月にかけて各町内に必要物品を配布

### ◆ 令和3～7年度の実績

- 配布：102 町内会
- 土のう袋：20,980 枚
- 山砂：96 m<sup>3</sup>
- ブルーシート：1,973 枚



山砂配布

土のう袋、ブルーシート配布



### 水防用資機材配布に関する確認票

(町内会名) \_\_\_\_\_  
 (提出日) 月 日 \_\_\_\_\_  
 (区長氏名) \_\_\_\_\_ (携帯電話番号) \_\_\_\_\_

#### (資機材)

資機材名	数量
土のう袋	枚
ブルーシート	枚
土のう用山砂	m <sup>3</sup>

#### (搬入場所)

- 訂正される場合、右側の訂正場所に記載してください。
- 倉庫の場合、地図上で場所の特定ができませんので番地や目印となる建物などを記入してください。

搬入場所	➔	訂正場所

番地や目印となる建物など

#### (配布日時)

区長様立ち会いのもと、上記の搬入場所に配布します。5月中の希望される日時をご記入ください。(なるべく平日の日中をお願いいたします)

希望日時
日 時 分

#### (その他) 何か伝達事項等があればご記入ください。

(立ち合いは難しいので搬入場所に置いておいてほしい、土日にしてほしい など)
--

## ○ 地域住民を対象として出前講座や避難所設営訓練等の実施

- ・ 11月16日にあわら市防災士の会やあわら市赤十字奉仕団等とともに防災訓練を実施した。

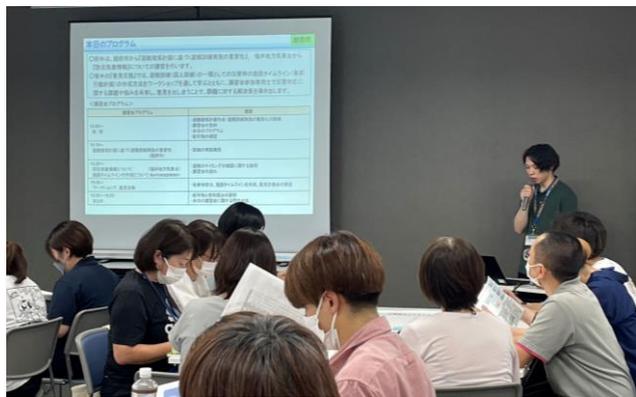
### ◆ 実施内容

- ① 市職員による出前講座  
災害情報の入手方法、家庭で備えるべき備蓄品の紹介
- ② あわら市防災士の会による避難所設営訓練  
指定避難所を使用し、ブルーシートを用いたスペースの確保や段ボールベッド・間仕切りの組み立てを実施
- ③ あわら市赤十字奉仕団による炊き出し訓練  
ハイゼックスを使用した調理方法によるサツマイモご飯の提供
- ④ 防災関係機関による展示
- ⑤ 能登半島地震における自衛隊活動写真のパネル展示



## ○ 要配慮者利用施設の避難訓練に関する講習会の実施(令和7年6月30日)

- 市内の社会福祉施設、学校、医療施設など39の施設から、要配慮者利用施設職員約60名が参加し、避難確保計画や施設内避難行動について質の向上を図った。



## 【前半】

越前市防災危機管理課、福井地方気象台、福井河川国道事務所が講義を行い、避難確保計画の重要性や、水害に関する基礎知識を座学で学ぶ。



## 【後半】

参加者6~7人のグループで、水害を想定したワークショップを実施。各施設から持参した避難確保計画をもとに、災害時の対応を時系列で整理するタイムラインを作成した。施設職員目線での要配慮者避難の課題など意見を出し合い、計画のブラッシュアップを行った。

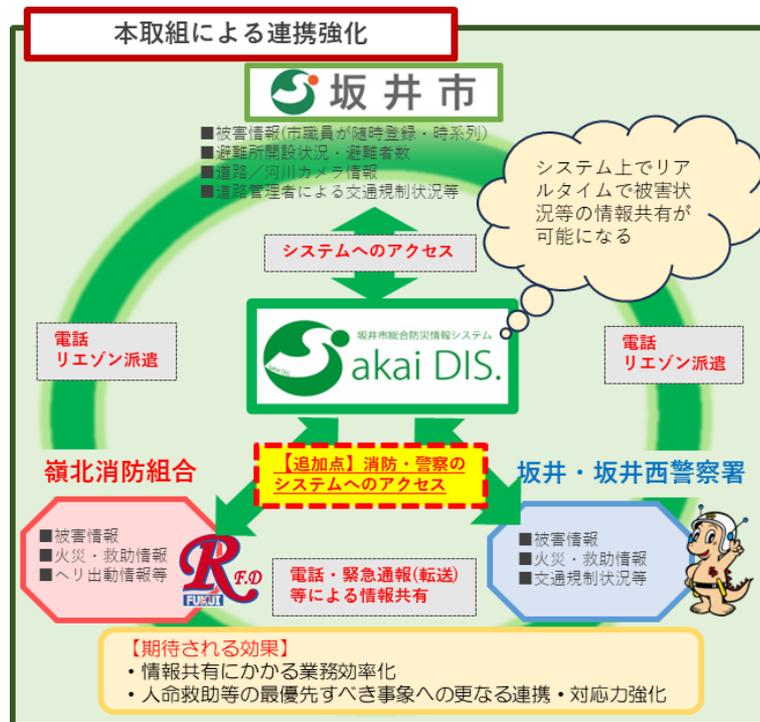
- 「坂井市総合防災情報システム」の供用開始 市、警察、消防とのDX共用化による連携強化
- 「坂井市防災行政無線の再整備」 令和7年実施設計 ⇒ 令和8年から再整備工事予定

## ◆ 坂井市総合防災情報システム

- ① 警察・消防も参加しての本部運営訓練
- ② 警察・消防職員向けシステム操作説明会を開催 (R7.5.29)
- ③ 職員初動マニュアル
  - ・ 水防活動班を新たに編成



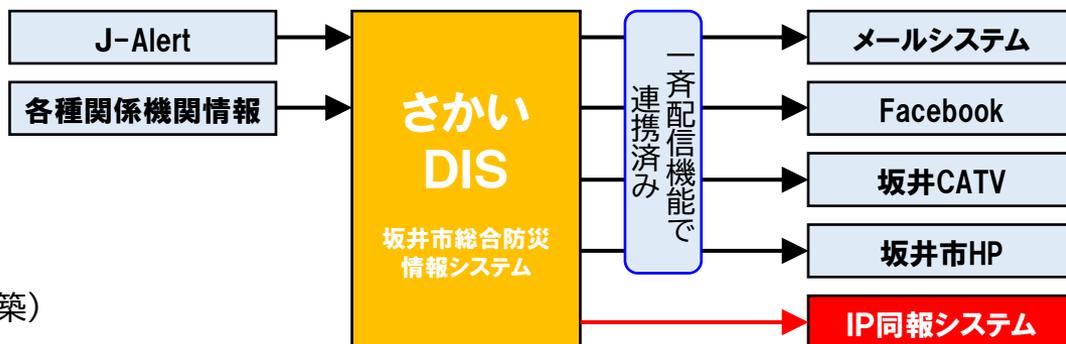
① 本部運営訓練



## ◆ 坂井市防災行政無線の再整備

- ① 防災行政無線の整備概要
  - ・ IP無線(携帯電話網)方式 (予定)
  - ・ 工事期間 令和8~10年度(予定)
  - ・ 整備費用 約10億円(予定)
  - ・ さかいDISとの連携
  - ・ 高性能スピーカー 一部導入(予定)
  - ・ 副操作卓の構築(自宅でも配信可能)
  - ・ 情報配信媒体の一元操作化(ワンオペレーションの構築)

## ② さかいDIS-IP同報システム連携概念図



- モデル地区を設定し、地区防災マップの作成を支援
  - ・ 地区の危険箇所や安全な場所を確認し、有事の際に住民が安全安心に避難できるよう取り組む。
- 地区防災計画作成に伴うワークショップを開催
  - ・ 地区の危険箇所や避難所を記した地区防災マップを作成し、有識者の視点から危険箇所の指摘や避難経路を指導、防災活動の見直し、地区防災計画の作成を支援する(4集落)。

## ① 各自治会へ概要説明



## ③ ワークショップ開催



## ② 防災まち歩き



## ④ 地区防災計画への取組



- ・ NPO法人 災害看護研究所からの業務支援をいただき、防災マップ作成までの取組を反映した地区防災計画作成の支援を継続実施
- ・ 令和7年度までに8地区で取組を完了予定

## ○ ハザードマップを活用した要配慮者利用施設の避難経路等に関する講習会の実施

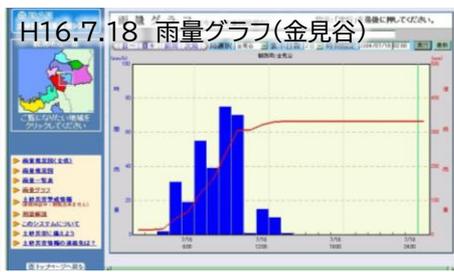
- 町内特別養護老人施設において、職員15名が参加し、過去豪雨状況、避難確保計画、施設内避難行動、備蓄品の活用方法、防災設備の確認を行い災害時への意識及び行動の向上を図った。

### ◆ 福井豪雨の被災状況を参考に避難経路の再確認

- 雨量、被害状況(主に道路や河川)を確認
- 同等の豪雨が発生した場合、河川や道路への被害を想定した避難所、協力施設までの経路について、マップ上で再確認

### ◆ 施設設備の箇所や防災設備等の再確認・点検

- 施設周辺の地形を考慮し、危険な場所の再確認
- 施設設備箇所の確認および防災設備の点検
- 備蓄してある非常食を用いての使用方法の体験



## ○ 自主防災による安全安心な集落づくり補助金の交付

- 自主防災組織結成集落を対象に補助金を交付しているが、自主防災組織の更なる結成を図るため、令和6年・7年度に限り結成予定集落及びその他集落に対しても補助金を拡充。

## ○ 各集落のサロンで防災講座と併せて自主防災組織における説明(町内73集落中52集落で実施)

## ○ 集落における町と自主防災組織合同での防災訓練の実施

### 【安全安心な集落づくり補助金】

対象事業	対象経費	事業費上限	補助率		
			自主防災組織 結成集落	自主防災組織 結成予定集落	その他の 集落
防災資機材整備事業 ※「申請は原則1回限り」 の要件は廃止	ハンドマイク・ヘルメット・スコップ・ 簡易トイレ・毛布・発電機等の購入費	60万円	7/10 (世帯数が少ない・ 高齢化率の高い集 落には加算)	7/10 (世帯数が少ない・ 高齢化率の高い集 落には加算)	1/2
防災資機材維持管理 事業	防災資機材の修繕費等	20万円	9/10	9/10	7/10
備蓄品整備事業 ※令和6年1月1日から 3月31日までに購入 したものが対象	飲料水・非常食の購入費	30万円	9/10	9/10	7/10
防災研修会実施事業	講師謝礼、お茶代				
防災マップ作成事業	筆記用具等消耗品の購入費				
防災訓練実施事業	炊出し材料費、印刷代、消耗品の購入費、 保険料				
集落内定期警戒・ 点検事業	防災服・防寒着・長靴・懐中電灯等の購 入費				



【防災講座】

下牧谷集落センター(令和7年8月6日)



【防災訓練】

東谷・清水・脇本 合同防災訓練  
(令和7年10月5日)

## ○ 防災士エキスパートえちぜん(越前町の防災士組織)の指導スキルアップ研修 →【指導実践】

- ① 避難所レイアウト検討技法研修(令和7年8月5日(火))
- ② 防災マップ作成技法研修(令和7年8月30日(土))
- ③ 令和7年度越前町総合防災訓練における研修指導(令和7年9月28日(日))

### ① 避難所レイアウト検討技法研修

→防災マップ作成技法の前段として、避難先で重要となる避難者のスムーズな受入れのための避難所レイアウト検討にあたっての技法を学ぶ。



- 指定避難所の平面図をベースに、居住スペースや共同利用スペースについて検討しました。

### ② 防災マップ作成技法研修

→天王川の氾濫等による浸水想定区域とされる「西田中区」を研修対象エリアとし、作成技法を福井県防災士会から学ぶ。



- 防災マップ作成にあたってのポイントを学んだほか、グループに分かれて町歩きを行い、危険箇所や避難ルートなどを白地図に落とし込んでいきました。

### ③ 総合防災訓練での指導

→防災士としての指導スキル向上のため、総合防災訓練で避難所レイアウトの考え方を参加者(自主防災組織の役員)に指導した。今後は自主防災組織からのニーズにより、防災マップ作成技法も指導していく。



- 防災士が検討にあたってのポイントを指導し、参加者が施設平面図に避難所としてのレイアウトを書き込みました。(レイアウトはデータ化して保管)

## ○ 河川水位計及び河川監視カメラを設置

- ・ 豪雨時に水位の変化が大きい町内中小河川8箇所にて河川水位計及び河川監視カメラを設置し、美浜町河川水位等監視システムにより、水位データ等を提供
- ・ 令和7年度は、地区からの要望に基づき河川水位計及び河川監視カメラを1箇所増設予定

## ○ アンダーパスに冠水監視カメラを設置

- ・ 町内2箇所のアンダーパスの冠水を監視するため冠水監視カメラを設置し、河川水位計等と同様に美浜町河川水位等監視システムにより、カメラ画像を提供

美浜町防災アプリ

緊急情報

町からのお知らせ

自治会からのお知らせ

職員向け情報

美浜町防災情報

防災ハンドブック (地震・自然災害)

原子力防災のしおり

洪水・土砂災害ハザードマップ

津波ハザードマップ

防災マップ (避難所等)

**河川水位等監視システム**

天気・気象

防災情報リンク集



### 各観測点の水位と10分間の水位差

地名	観測時刻	水位	水位差	地図
阿努陀川	2025/12/31 10:00	0.24m	0.00m	<a href="#">位置</a>
丹生大川	2025/12/31 10:00	0.26m	-0.02m	<a href="#">位置</a>
越地川	2025/12/31 10:00	0.32m	0.00m	<a href="#">位置</a>
金瀬川	2025/12/31 10:00	0.29m	0.00m	<a href="#">位置</a>
菅野区内河川	2025/12/31 10:00	0.02m	0.00m	<a href="#">位置</a>
南生川支流	2025/12/31 10:00	0.05m	****	<a href="#">位置</a>
五十谷川	2025/12/31 10:00	0.04m	0.00m	<a href="#">位置</a>
美谷川	2025/12/31 10:00	0.21m	0.02m	<a href="#">位置</a>
瓦川 (福井県)				<a href="#">位置</a>
太田川 (福井県)				<a href="#">位置</a>
横谷川 (福井県)				<a href="#">位置</a>

11件



**凡例**

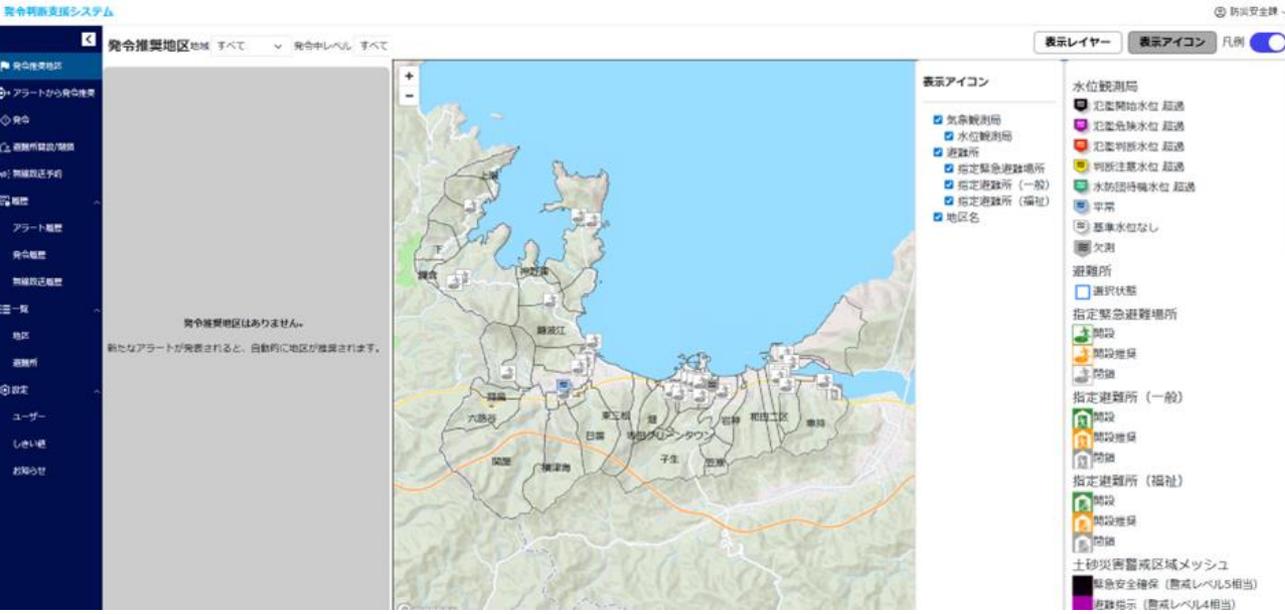
- 現在の水位
- 観測開始水位:警戒レベル1 災害への心構えを高める
- 危険水位:警戒レベル2 避難に備え、自らの避難行動を確認

## ○ 発令判断支援システムの導入

- 災害時に気象情報や危険度を自動的に分析し、避難が必要かどうかを判断して住民へ迅速にお知らせする『発令判断システム』を導入。災害時の避難情報を的確かつ早期に発信でき、住民の安全確保につなげる。

## ◆ システム概要

- 既設の総合防災情報システムを改修し、発令判断支援システムとの連携を行い、避難情報等を解析、表示する機能を追加した。
- これにより、住民へ避難情報を「適切なタイミング・対象地域」に迅速かつ的確に発令することができ、逃げ遅れ防止につながる。
- また、防災行政無線や防災アプリと連携することで、全ての操作が一連で行え、職員の判断負担軽減、情報伝達の精度向上が図れる。



発令判断支援システムログイン画面

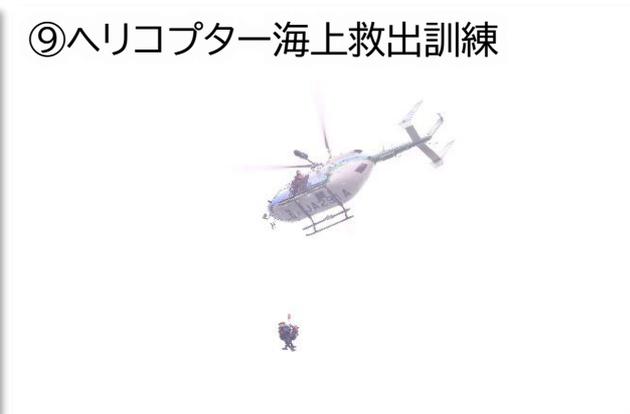
防災アプリ画面

## ○ おおい町総合防災訓練の実施(令和7年5月24日)

- 消防職員、消防団員、赤十字奉仕団、町職員および自主防災組織による総合防災訓練を実施し、水防工法などの防災にかかる知識及び技術の習得を図った(約150名参加)。

◆ 台風等による洪水、土砂災害などの災害から町民の生命、身体、財産を守ることを目的として、次の各水防工法訓練等を実施。

- ①土のう作成、②改良積土のう工法Ⅱ型、③倒壊家屋救出訓練、④給水訓練、⑤避難広報訓練、⑥負傷者の搬送・救護訓練、⑦住民避難訓練、⑧炊き出し訓練、⑨ヘリコプター海上救出訓練



## ○ 若狭水防訓練の実施(令和7年6月9日)

- 消防職員、消防団員、赤十字奉仕団、町職員による水防訓練を実施し、水防工法の知識及び技術の習得を図った(約160名参加)。

◆ 台風、集中豪雨、洪水等による被害を軽減し、水災から町民の生命、身体、財産を守ることを目的として、次の各水防工法訓練等を実施。

- ①土のう作成、②改良積土のう工法Ⅰ型、③改良積土のう工法Ⅱ型、④せき板工法、⑤積土のう工法、⑥住宅浸水防止工法、⑦炊き出し訓練、⑧河川監視パトロール訓練

①土のう作成



②改良積土のう工法Ⅰ型



④せき板工法



⑥住宅浸水防止工法



⑦炊き出し訓練

